

令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立清水特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立清水特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	266名

1. 使用状況

寄贈物品名	プレーポートワンダー（滑り台）
使用学年及び人数	小学部1年～6年 95名
使用頻度	週4日（晴天時の昼休み） 不定期（体育や遊びの指導などの授業）
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・体育のサーキットを行うときに使用しています。 ・低学年の遊びの指導で、アスレチック遊びを行う際に使用しています。 ・昼休みにはいろいろな学年の児童が遊んでいます。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年が公園に行くための前段階として楽しく遊びながらルールを学ぶことができました。 ・登り口が階段ではなく、ネットやジャングルジム風の横移動の遊具なので、様々な体勢で身体を動かすことができます。 ・太鼓橋やうんてい等はあまり興味を持てなかった児童が、公園にあるようなカラフルな複合遊具のおかげでたくさん遊ぶようになりました。 ・すべり台を滑りたくて、繰り返し遊んだり、身支度を素早く整えたりする児童がいます。 ・体をたくさん動かしたり繰り返し遊んだりすることができます。また、滑る順番を待つことができます。
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年には大きさが丁度良く、遊び以外にも体育等でも使用します。 ・遊具を活用した遊びの指導の授業に取り入れます。 ・体育のサーキットトレーニング（登る）でも活用していきます。
その他希望や所感など	

2. 活用の様子

低学年のアスレチック遊びの様子です。登ったり滑ったり、とても楽しそうに活動しています。



昼休みには、複数の学年の児童が自由遊びで使っています。
登ったり滑ったりして全身を使い、友達と順番を待って遊んだり、元気に活動しています。

